



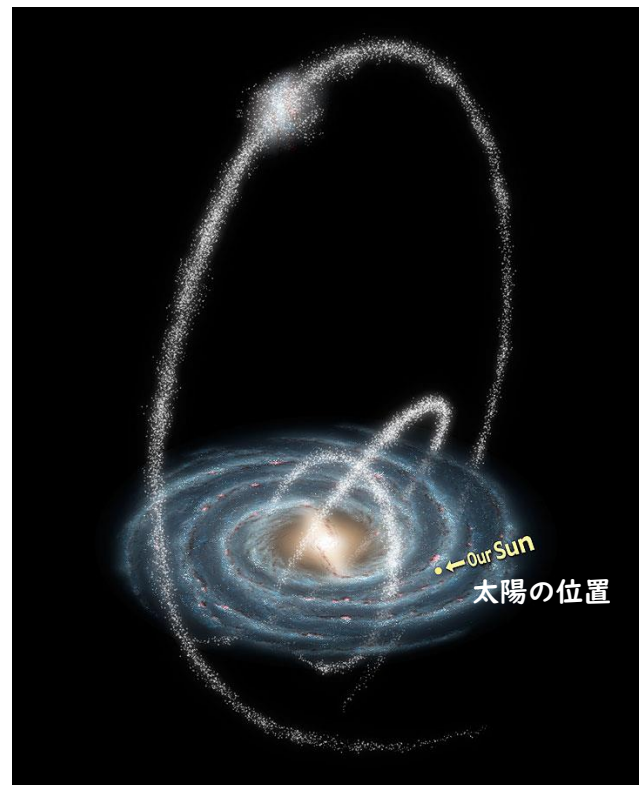
アークトゥルス・ストリーム

先週紹介したアークトゥルスはとても変わった星で、1500年ほどで月の直径2個分くらい動いています。これは、地球が動いているための見かけの運動ではなく、それぞれの星がバラバラに動いているものだったので「固有運動」と名付けられました。アークトゥルスは固有運動が最初に観測された星です。

長い間、アークトゥルスはただの固有運動の大きな星でしたが、1971年に30個ほどの星とともに銀河系空間の中で同じような運動をしていることが発見されました。この星の運動のことをスター・ストリーム（星の流れ）と言います。アークトゥルス・ストリーム

(Arcturus Stream) は最初に発見されたストリームです。発見当初は、ヒアデス星団

のように、高速で移動する散開星団が散らばってストリームになったのではないかと考えられましたが、今では、銀河系が他の銀河と、接近又は合体した時にかき乱された星の群れが、再び銀河系へ戻って行く現象が、星の流れのように観測されているものと解釈されています。今ではストリームは銀河系に関して20個ほど、他の銀河にもいくつか見つかっています。このことから、銀河同士がお互いに強い影響を与えて形が変わってしまうほどの、激しい活動が宇宙のあちこちで起こっていたことがうかがえます。



現在知られているスターストリーム

Credit: NASA/JPL-Caltech/R. Hurt (SSC/Caltech)